

大阪府立泉南支援学校 令和7年度 第1回 学校運営協議会 記録

1 日時 令和7年11月25日(火) 10:00 ~ 12:00

2 場所 大阪府立泉南支援学校 会議室

- 3 次第
- (1) 開会 校長あいさつ
 - (2) 授業見学
 - (3) 報告・協議
 - (4) 閉会 校長あいさつ

○報告

<令和8年度採択教科用図書一覧について>

・選定に際して、教材として使いやすくなっているか、子どもたちにどのように伝えていくか、また教員も使いやすいか等をふまえて選定する。また、動画サイトやデジタル教科書など、多様化するなかで効果的に使用していく。

<令和7年度学校教育自己診断について>

・学校教育自己診断について。前年度はGoogleフォームによる提出になって保護者からの回収率が下がった。今年度より欠席連絡にGoogleフォームを導入することで、保護者もスマホやパソコンを操作することに慣れたのではないかと。次回の回収率に注視したい。

<令和7年度卒業予定者の進路先希望状況について>

・企業就労希望の生徒は実習を経て、実習の評価(結果)を待っている生徒と面接や面談に進む生徒がいる。障害福祉サービス事業所については10月31日の福祉懇談会で卒業後利用希望の事業所を伝え、現在調整中である。

・企業就労をしたが離職してしまった卒業生をどのようにフォローしているか→そうならないように、障害者就業・生活支援センターと連携をして定期訪問を実施している。本人の困りごとや課題を明らかにして、再チャレンジなどの支援をしている。

・就労や実習などにおいて、個々の強みや特性などをどのように企業側に伝えているか→就労の際は、移行支援書を使って企業への引継ぎを行っている。実習では、主に担任教員が打ち合わせの時に生徒情報の提供をしている。また適性や能力、課題等に応じた実習先のあてはめを行っている。

・生徒のニーズに応じた進路指導(企業就労、福祉サービス利用)を行っていることをもっと発信する。

<令和7年度いじめ等に関するアンケート実施結果について>

・今年度から3回実施。Googleフォームを使って実施した。名前が書かれていた回答については対応済み。子どもたちの人権を尊重しながら授業展開がされていると感じる。

<令和7年度学校経営計画及び学校評価の進捗状況について>

- ・災害時における通学バス一時避難場所を保護者にお知らせした。委託バス会社には2学期の運行連絡会で周知する。
- ・災害時の対応について市との連携、地域との連携が大切である。障がいをもった子どもたちがどのような行動をするか、理解を深めてもらいたい。災害時は特にそのようなことが必要である。1月に避難訓練で防災アドバイザー事業を活用する。
- ・放課後等デイサービスとの連絡会を4月、7月に実施した。
- ・教職員の在校等時間の縮小のために、時間外在校等時間を校長だよりでお知らせしている。
- ・特別支援教育における専門性の向上のためにメンターチームを組織し、中堅と若手教員の学びの場を設定している。
- ・給特法の改正に伴い来年度、働き方改革の目標設定をすることになる。内容は第3回で提案する。

○協議事項（11：10～11：45）

<ICT機器を活用した授業についての感想>

- ・子どもたちも教員も（ICTを活用した授業に）慣れてきたように感じる。
- ・絵や写真が使用できて効果的だ。AIなども普及してより便利になった。画面を見るだけでなく字を書くなどの活動があってよい。
- ・卒業後の日中活動の場でもICTを活用するチャンスがあればよい。
- ・（ICT機器を活用した）学習に繋がりを感じた。筆圧弱い、強い子どももいるのでタッチペンは便利だ。

○事務連絡

- ・今後の予定 第3回学校運営協議会は令和8年2月中（午前を予定）